



平成28年10月11日

各 位

上場会社名 株式会社 **ユニマ**
 代表者 代表取締役社長 青井康弘
 [コード番号 8143 東証 第二部]
 問合せ責任者 執行役員社長室長 尾崎史照
 (TEL 06-6358-2256)

平成29年2月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正、繰延税金資産の取崩し及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成28年4月8日に公表いたしました平成29年2月期第2四半期連結累計期間（平成28年3月1日～平成28年8月31日）の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月期通期（平成28年3月1日～平成29年2月28日）の業績予想の修正、配当予想の修正につきましても、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 5,200 | △ 60 | △ 45 | △ 70 | △ 30.17 |
| 実績値 (B) | 4,766 | △ 327 | △ 331 | △ 508 | △ 219.11 |
| 増減額 (B-A) | △ 433 | △ 267 | △ 286 | △ 438 | |
| 増減率 (%) | △ 8.3 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年2月期第2四半期) | 5,119 | △ 234 | △ 244 | 25 | 11.18 |

(注) 1. 平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 1株当たり四半期純利益の端数処理方法は、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて切捨てとしております。

2. 平成29年2月期通期業績予想の修正（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 11,100 | 80 | 100 | 30 | 12.93 |
| 今回修正予想 (B) | 10,100 | △ 540 | △ 610 | △ 1,290 | △ 556.10 |
| 増減額 (B-A) | △ 1,000 | △ 620 | △ 710 | △ 1,320 | |
| 増減率 (%) | △ 9.0 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成28年2月期) | 10,816 | △ 412 | △ 454 | △ 260 | △ 112.17 |

(注) 1株当たり当期純利益の端数処理方法は、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて切捨てとしております。

3. 差異が生じた理由及び修正の理由

百貨店、専門店など小売市場における婦人衣料品店頭売上高が前年を大幅に下回る厳しい状況の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は当初予想に比べ8.3%減となり、損益面に関しましても売上高減少の影響により、営業損益段階で当初予想を大幅に下回り、繰延税金資産の取崩しによる影響額も含め、上記の結果となりました。

また、通期の業績予想につきましては、上期の業績及び今後の当社グループを取り巻く環境や見通しを踏まえて売上高を下方修正し、損益面に関しましても、現在策定中の組織のスリム化、人員体制の見直し実行等に必要費用約4億80百万円を見込み、上記のとおり修正いたします。なお、その具体的な施策につきましては、まとも次第、公表する予定です。

4. 繰延税金資産の取崩し

当社は、今後の業績動向と厳しい経営環境を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当第2四半期連結会計期間において繰延税金資産の全額を取崩し、法人税等調整額に1億10百万円を計上いたしました。

5. 配当予想の修正

| | 年間配当金（円） | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 今回修正予想 | | | — | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | | | |
| 前期実績（平成28年2月期） | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |

6. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策のひとつと位置づけており、当期の経営成績並びに将来の経営環境変化への対応や計画的な事業展開を総合的に勘案した上で、継続的に安定配当を実施することを基本方針としております。しかしながら、現下の厳しい収益状況を踏まえ、誠に遺憾ながら実施を見送らせていただきたく存じます。

株主の皆様におかれましては、何卒事情をご理解いただき、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上